

私たちの
公共施設やインフラの
未来を考えてみよう!



きちょうちゃん



のぶながくん



よしとくん

豊明市PRキャラクター

平成28年4月



愛知県豊明市

私たちの市にある 公共施設とインフラの あしたを考える。

豊明市は、昭和47年の市制施行時期に多くの公共施設を整備してきました。今後、その公共施設が一齐に更新をする時期を迎え、それらの建て替え費用や改修費用が市の財政運営にとっての大きな負担となることが予想されます。

財政規模に見合わない公共施設をそのまま保有し続けることは、将来、次世代の負担が増えることになるだけでなく、真に必要な公共サービスの維持さえも困難になるおそれが出てきました。

“財政破たん”という最悪のシナリオを回避し、子や孫の世代にも質の高い公共サービスを提供するためには、公共施設を市有の経営資産と捉え、新たな収入源と認識した運用、あるいは財政支出を抑制するためのコスト縮減方策を考えなくてはなりません。

1 人口の現状と課題

豊明市の人口は今後も減少し、高齢者の比率が高まります。

若い働き手はこの先こんなに減っていくのか



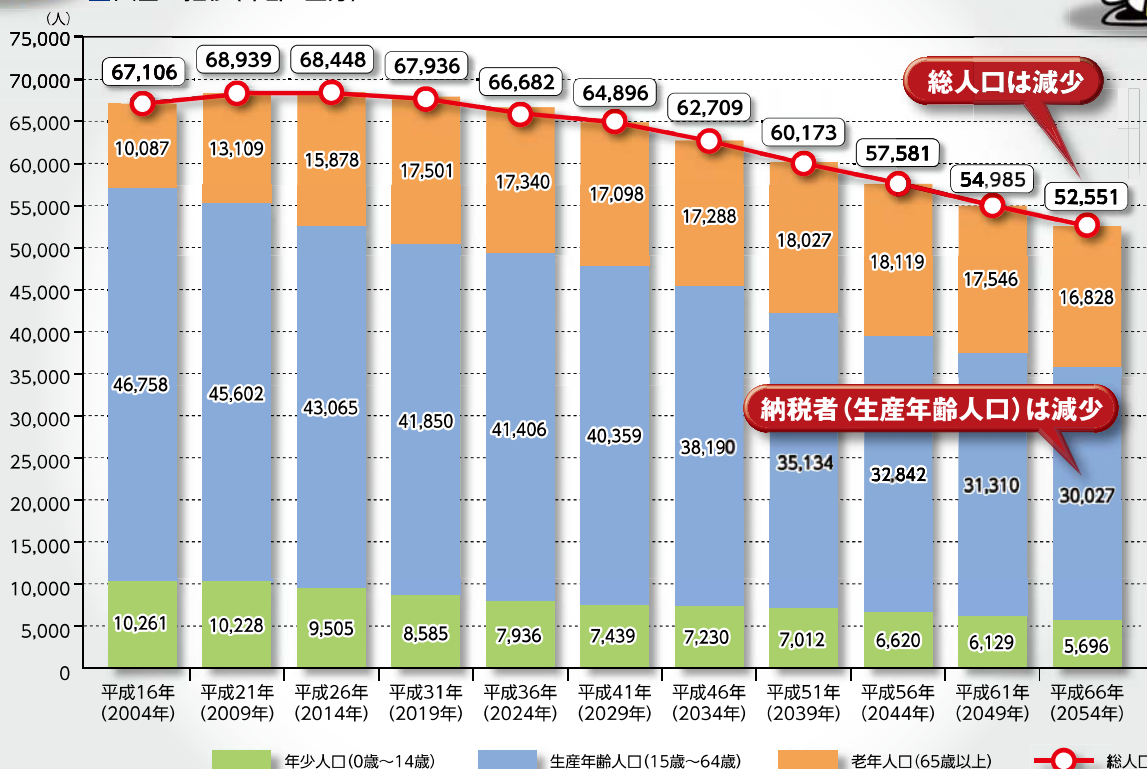
豊明市の年齢別人口は、今後財政の担い手である生産年齢人口、年少人口が減少していく一方で、老年人口は平成56年まで増加し続け、少子高齢化が進展していきます。

老年人口と生産年齢人口の比率は、平成26年では1:2.7であったものが、平成66年には、1:1.8となり、一人当たりの高齢者を支える負担や社会保障費が増大します。

お年寄りの占める比率が大きいことも注目しなくてはならん



■人口の推移(年齢3区分)



※人口は、住民基本台帳ベースで推計

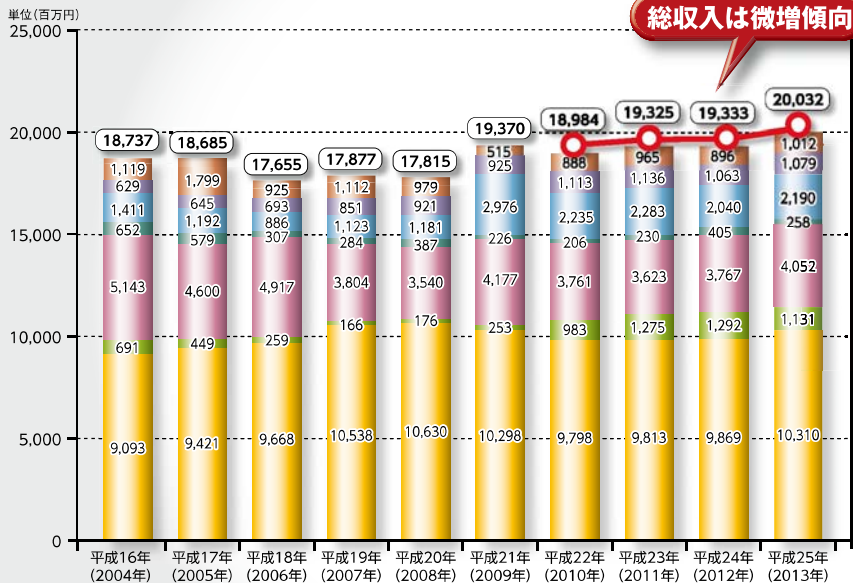
2 財政の現状と課題

最近の豊明市のおさいふ事情の移り変わりから見てみましょう。

■豊明市に入ってくるお金＝歳入の推移・内訳

2013年度（平成25年度）の歳入総額は約200億円。最近10年間では2006年度（平成18年度）が最小でしたが、近年はすこし増えています。

主な自主財源となる市税は、年間100億円前後で推移しています。



入ってくるお金に関しては
それほど変化が
ないみたいだな



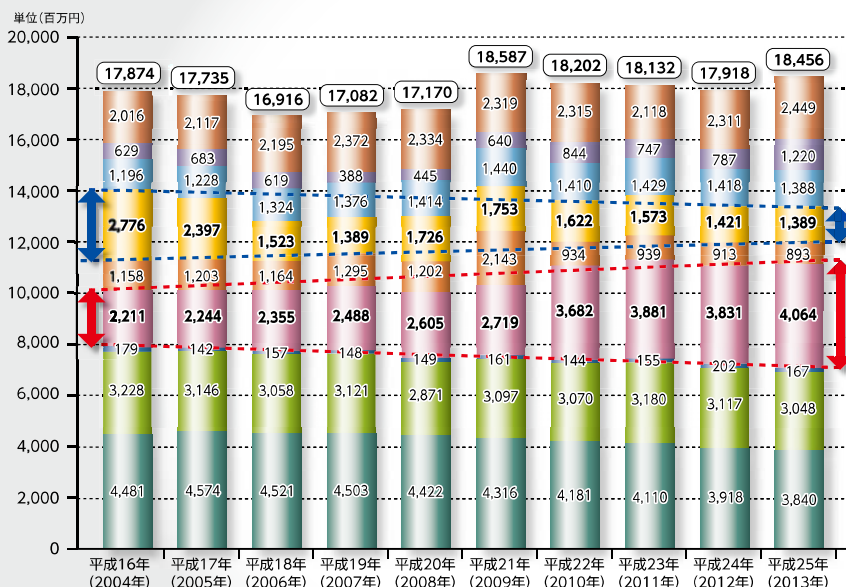
- その他特定財源
- 県支出金
- 国庫支出金
- 市債
- その他の一般財源
- 地方交付税
- 市税

使っているお金では
公共施設などには
あまりまわってはいないのだな

■豊明市から出て行くお金＝歳出の推移・内訳

歳出のうち、投資的経費（道路、学校、公共施設の建設や用地購入などの費用）は減少傾向にあります。扶助費（生活困窮者、児童、老人、心身障害者等を援助するための費用）は平成16年度に比べ、約1.8倍まで増えています。

扶助費は少子高齢化に伴い、今後も増加することが予想されます。



投資的経費の減少

扶助費の増加

「扶助費」が
増えてきているのが
気になるのう



- 繰出金
- 積立・投資及び出資金・貸付金
- 公債費
- 投資的経費
- 補助費等
- 扶助費
- 維持補修費
- 物件費
- 人件費

3 公共施設の保有状況

いま、豊明市にある公共施設などは、

- 建築物では **103施設196棟**
- 道路・下水道などのインフラ資産が、**市道延長で362.0km、橋梁で101橋**
- **下水道延長が247.1km** などとなっています。

ずいぶんたくさんの施設があるのう



■ 公共建築物

公共建築物

施設分類	内 訳
建築物	■ 103施設196棟
	■ 小学校9校 ■ 中学校3校
	■ 保育園10箇所 ■ 児童館7箇所
	■ 消防施設7箇所 ■ 公民館2箇所 など

インフラ資産

施設分類	内 訳
道 路	■ 一般道路 362.0km
	■ 自転車歩行者道 1.7km
	■ 道路付属物、法面 など
橋 梁	■ 101橋
下水道	■ コンクリート管 73.1km
	■ 塩ビ管 159.4km
	■ 更生管 13.0km
	■ その他下水管 1.6km 計247.1km
公 園	■ 都市公園、都市公園以外の公園 など

今回は公共建築物とインフラ資産を考えるのだな



市有財産

【対象範囲】

公共施設等

公共建築物

市役所、体育館、学校等
…延床面積50㎡以上を対象

インフラ資産

道路、橋梁、下水道、公園

土地

その他(動産・金融資産等)

TOYOKANE CITY

4 公共施設の現況

豊明市の公共建築物は、1966年頃から整備が進み、特に1970年～1980年にかけては急速に整備が進みました。

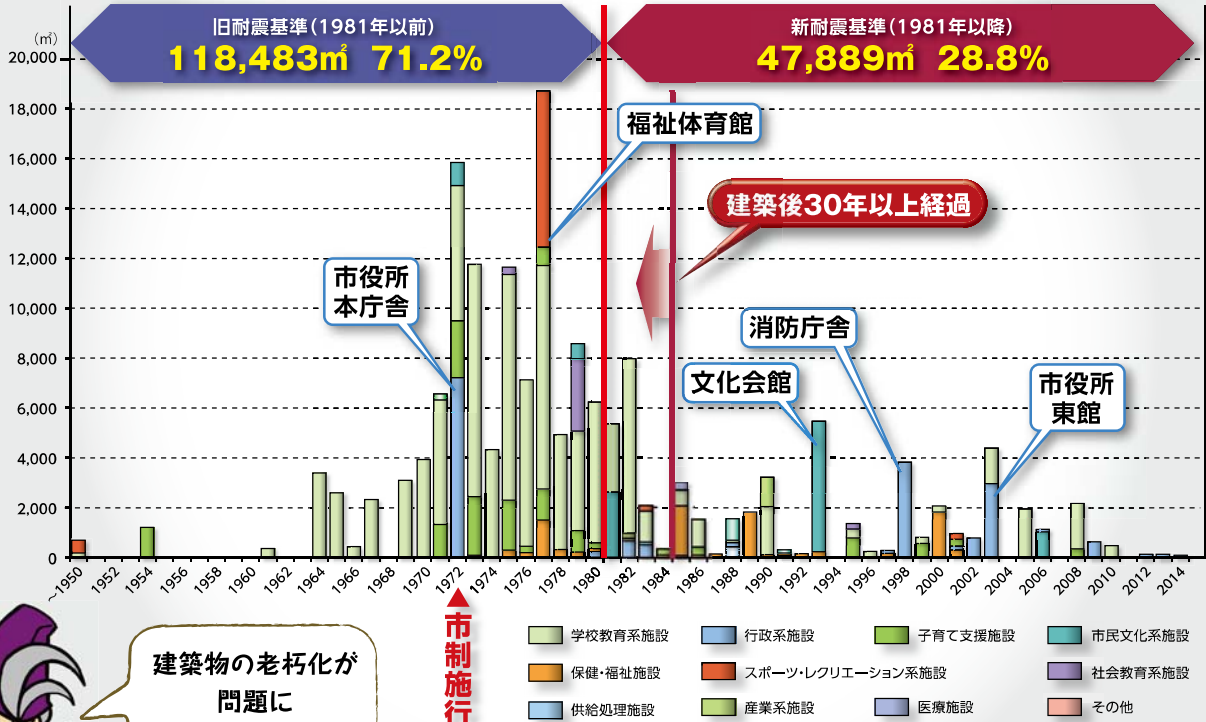
それらの高度経済成長に伴って整備された公共建築物は、整備から30年以上が経過しており、豊明市の延床面積の約8割を占めています。

市役所や体育館などは
ちょうど市制施行の頃が
建築ラッシュだな



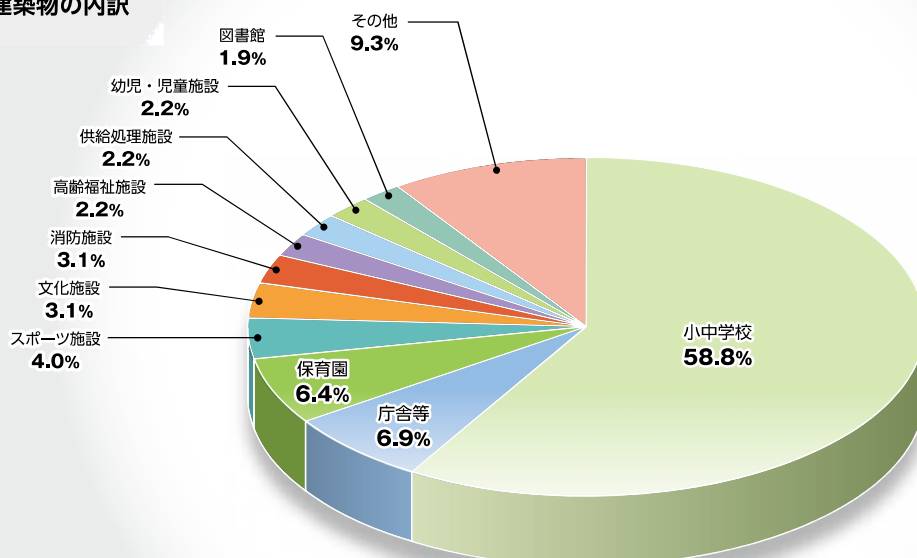
公共建築物の推移

総延床面積: 16.6万㎡



公共建築物の延床面積の内訳をみると、延床面積の約6割を学校が占めており、次いで庁舎等、保育園となります。

建築物の内訳



学校の更新、修繕が
課題になるんだね



5 公共施設の将来コストの予測

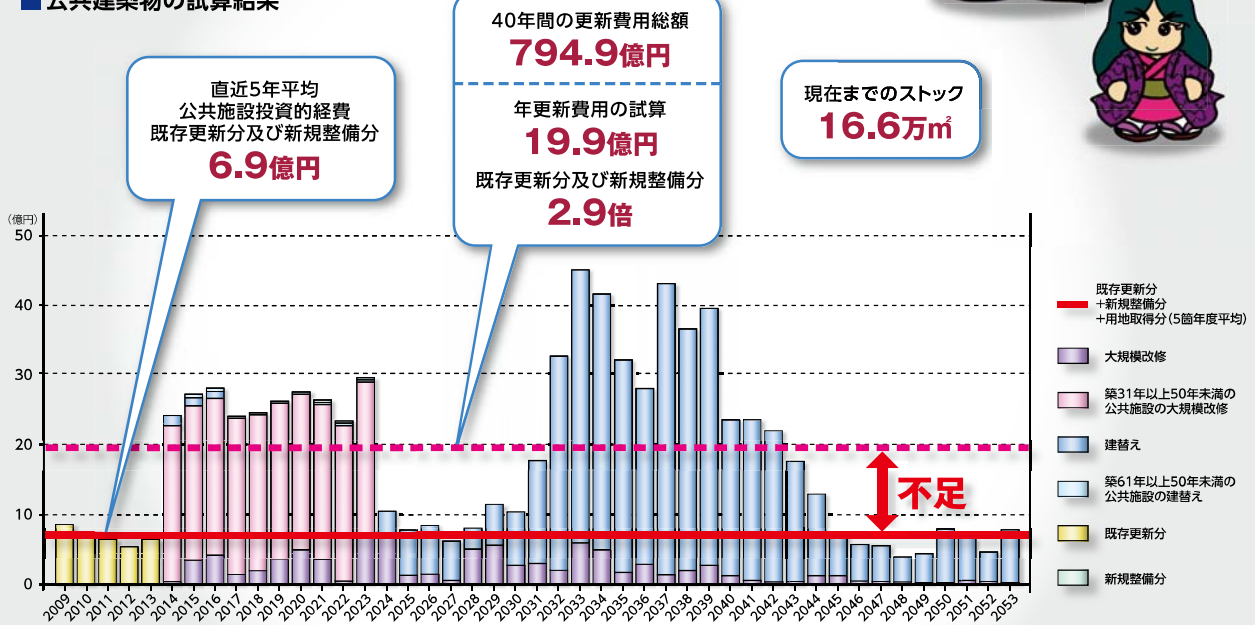
公共建築物の更新・修繕にかかる費用は**40年間で794.9億円**、**1年間に19.9億円**必要となり、近年の**公共建築物の投資的経費の約2.9倍**もの多額の予算が必要となります。仮に不足する費用を全て市民税で負担すると、**生産年齢人口1人当たり約3万円も負担が増えること**になります。

※試算には、総務省より提供されている「公共施設更新費用試算ソフト」を活用し、豊明市に現在ある公共建築物を今後も保有し続けたと仮定した場合に必要な更新費用等の将来コストを試算しています。

全ての施設を更新した場合
1人につき3万円も
負担が増えるのか

なんとか早く手を
打たなくてはね

■ 公共建築物の試算結果

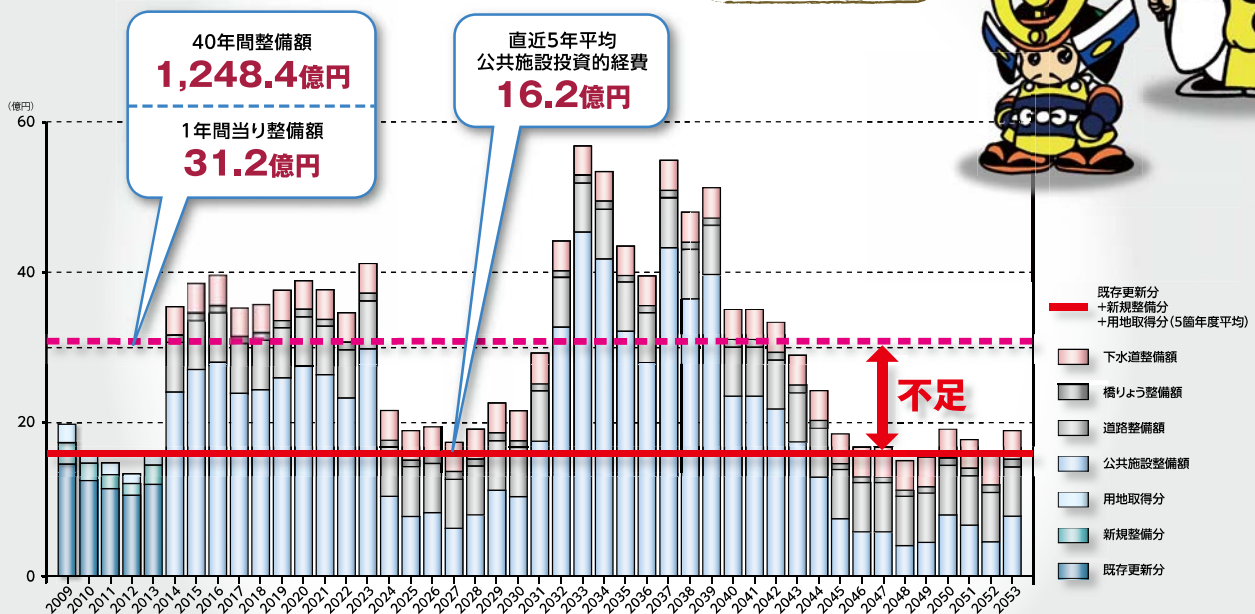


さらに下水道、道路、橋梁などのインフラ資産も加えた費用を試算すると、**40年間で1248.4億円**、**1年当たり31.2億円**必要となり、近年の投資的経費の**約1.9倍**もの多額の予算となります。

インフラ資産を
加えらるともっとかかるのか

こんなに負担が
増えるのは困るな

■ 公共建築物にインフラ資産を加えた試算結果



6 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

いま打っておくべき対策のいろいろ

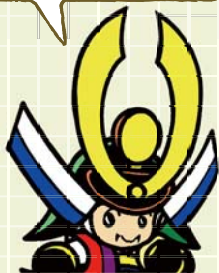
今後は、厳しい財政状況の中で、適切な維持管理を行っていく必要があります。豊明市公共施設等総合管理計画では、次の4つの基本指針を設定し、公共施設の適切なマネジメントを進めていきます。

基本指針①

保有する施設の総量を少なくしていく

- 更新を除く新規の公共建築物は作らない。
- 現在ある施設の更新は、公共サービスを維持しながら、優先順位により目標を決めて少なくしていく。

公共サービスの
質を落とさないことが
大切だな



お金のかかるものは
極力作らないという
ことじゃな



基本指針③

官民連携による財源を確保する

- 公共サービスの民間代替性を考える。
- 民間に任せの方がコスト、サービス維持の観点から有利な場合には、PPP/PFI、包括委託などの官民連携を積極的に進める。

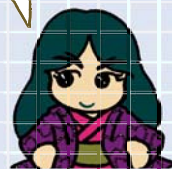
※PPP: 公民が連携して公共サービスの提供を行う手法。

※PFI: 民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う手法。

一般的な競争原理が
働くのは
いいことだと思うぞ



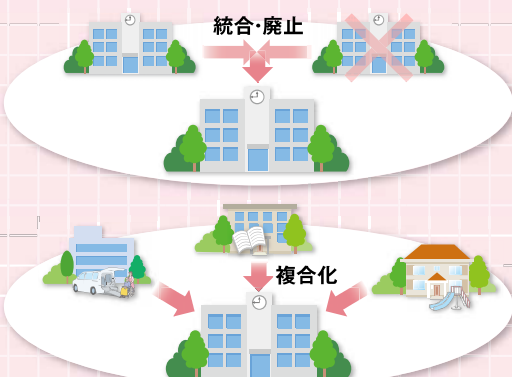
民間の経営感覚を
導入するのは
最近成功事例も多いよ



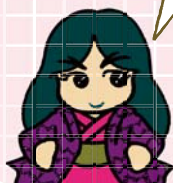
基本指針②

統廃合・複合化を進めていく

- 更新時には小規模施設の複合化を検討する。
- 優先度の低い施設は統廃合を進め、跡地は賃貸、売却により遊休資産を活用。
- そこからの収益は、優先する施設更新の費用にあてる。



複合化することで
便利なものもあるよ



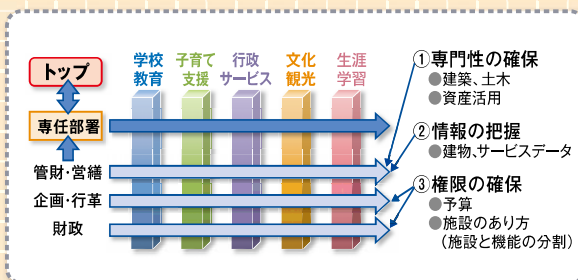
予算を削るだけじゃなく
儲かる方法も考える。
ナルホド



基本指針④

緊密なマネジメント体制を確立する

- 所管課ごとの維持管理体制を改め、部署横断的な体制を確立する。
- 事務の効率化や建物管理レベルの均一化など、一元的な運営管理を行い、維持管理コストを減らす。



いわゆる
夕テ割りの垣根を
なくすということだな



業務が重なったり
することも
なくなるのう



7 今後の予定

豊明市の未来に
期待しましょう



これからの豊明市の公共施設とインフラ

平成26年度に作成した「公共施設等総合管理計画」と「公共施設白書」をもとに、平成27年度には「公共施設長寿命化計画」を作成しました。平成28年度からは「公共施設適正配置計画」の策定に着手します。「公共施設適正配置計画」においては、具体的なモデル事業の想定や、現実に即した3~5年ごとのアクションプランを策定します。これらの計画を推進するためには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。将来の公共施設のあり方について、皆様といっしょに考え、公共施設の適正配置に取り組んでまいります。

計画は着々と
進められているぞ



■ 公共施設マネジメントにかかる年度別の実施内容

年度	取組内容
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共施設白書作成 ■ 公共施設等総合管理計画作成 ■ 公共施設マネジメント研究会開催(全5回)
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共施設劣化状況調査 ■ 公共施設長寿命化計画作成
平成28年度 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共施設適正配置計画作成 ■ 固定資産台帳作成 ■ 公会計制度による財政の運用開始

■ 公共施設マネジメントの取組スケジュール(予定)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
公共施設白書	調査作成	適宜見直			
公共施設等総合管理計画	策定	適宜見直			
長寿命化計画		調査策定	維持管理		
公共施設適正配置計画			策定		アクションプラン
新公会計制度			台帳整備	運用	

豊明市役所 行政経営部 企画政策課 経営管理係

〒470-1195 愛知県豊明市新田町子持松1-1

TEL: 0562-92-8318 FAX: 0562-92-1141

豊明市公共施設等総合管理計画【概要版】